

令和元年 6月7日

保護者の皆様

都城市立庄内小学校  
校長 房野 保弘

6月10日（月曜）からの水筒持参について（お知らせとお願い）

入梅の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

1学期も半分を過ぎましたが、お子さんの体調はいかがでしょうか。気象庁の予報によると今後の気温の状況は、平均並みか高くなるとなっています。学校では、児童の健康管理に十分に気を付け、特に、熱中症の予防として水分補給や帽子をかぶって遊ぶなど、指導を行っているところです。

水分補給は、学校の水道水でできますので、水筒持参は、原則として認めておりません。（水道水の安全性がご心配な方は、裏面の資料をご覧ください。）しかしながら、遠距離通学のために、登下校中に、熱中症や脱水症の症状が出ることを心配される保護者の方もいらっしゃることと思います。

そこで、上記のような理由やお子さんの体調により、水筒持参を希望される方は、裏面申込を学級担任に提出してください。

なお、お子さんに水筒を持たせる場合は、衛生面や異物混入、水筒の紛失や破損、生徒指導上の諸問題などの心配もありますので、下記のことについて留意していただきますようお願いします。

#### 記

- 1 水筒には、必要量の水かお茶を入れる。
- 2 下校時に水筒が空の場合は、下校の際に水道水を入れる。
- 3 飲む時間は、学校では学級担任の指示や決まった時間（体育の学習や昼休みの後など）、登下校中とする。
- 4 登下校中に飲む際は、安全な場所で、腰をおろして飲む。
- 5 水筒は、軽くて丈夫なもので、500mlくらいの容量にする。ペットボトルは不可です。
- 6 水筒の大きさを考え、登下校時に負担にならないようにする。
- 7 水筒には必ず記名する。
- 8 学校では、所定の場所に置く。

※ 水筒が紛失したり、こわれたりした場合の対処は、学校ではできませんので、それぞれが十分気を付けていただきたいと思います。

## <都城市ホームページより抜粋>

### 【質問】

水道水をそのまま飲んでも大丈夫ですか？

### 【答え】

給水栓(蛇口)から出る水道水には国が定めた水質基準があり、この基準は水道水を生涯飲み続けたとしても健康に影響が出ない量に決められています。

都城市では、給水栓の水質検査を定期的に市内32カ所で行っていて、水質基準に適合していることを確認していますので、安心して飲んでもらえます。

また、都市の上水道は、24時間連続で水質を監視測定し、適切な浄水処理を行っていて、常に基準に適合した水を送るように努力しています。

なお、旅行などで留守にされた後などの最初の水は、給水管に長い間たまつたままになっていて、消毒に必要な残留塩素がなくなっている場合がありますので、念のため出始めの水(バケツ一杯程度)は飲み水以外にご使用ください。

-----  
きりとりせん  
水筒持参申込

[ ]月[ ]日より水筒を学校に持参します。

なお、水筒持参のきまりを守ることを約束します。

令和元年[ ]月[ ]日

[ ]年 児童名[ ]

保護者名[ ]